

2026
3
月号

県民の森 だより



発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801 入園料：無料
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

HPはこちら!

昨年2月、大船渡市で発生した林野火災を受け、消防庁では林野火災注意報・警報を創設しました。宮城県では令和8年3月1日から運用が始まります。

林野火災の危険が高まったとき、県民の森にも消防署から林野火災注意報・警報が届きます。発令時は、中央記念館内に注意報・警報発令を掲示し、園内放送での注意喚起を行います。林野火災警報発令時は、屋外の火の使用制限があり（喫煙やタバコのポイ捨てを含む）、違反した場合罰則があります。

悲惨な林野火災を起こさぬよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

(所長：森山稔也)

★県民の森クローズアップ NO.11★

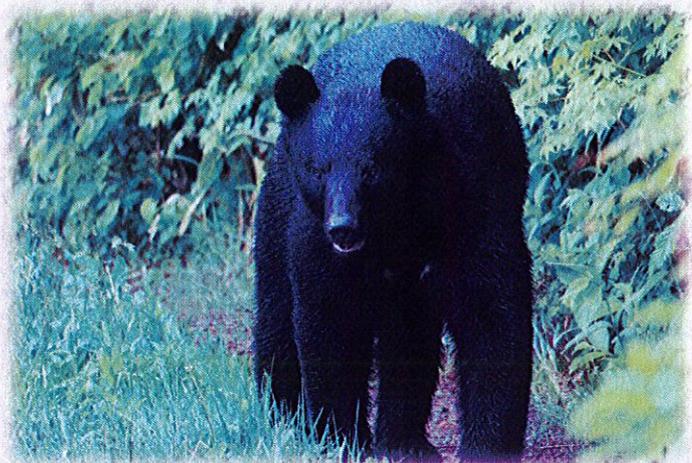


ツキノワグマ

※クマの撮影場所は県民の森ではありません。

2025年はツキノワグマによる事故や被害が多発した年でした。目撃件数も多く、特に人の生活圏での目撃件数がとても多い年でした。

私は仕事柄、山に入ることが多いのですが、2025年は山で1回しか会いませんでした。例年ならば少なくとも5～6回は会っていたのに。山にいるツキノワグマが少ない（減っている）と感じていました。



2023年頃から人を恐れることなく人里近くまで出てくるようになった「アーバンベア」と呼ばれるツキノワグマの存在が知られるようになりました。

2025年はブナやドングリが凶作でした。その為、山には力が強く体の大きいオスが残り、食べ物を確保するためになわばりを広げたと思われますその結果としてアーバンベアや若い個体、子供を連れた母クマが追い出され、人里近くまで出てきてしまったと考えられます。そして多くの事故へとつながってしまったのではないかと思います。

ツキノワグマとはどんな動物なのか、皆さんは知っていますか？これまでの私の経験からツキノワグマについてお話をします。

ツキノワグマとは何度も見たり会ったりしていますが、人の気配を感じると一目散に逃げてしまう臆病な動物です。耳（聴覚）や鼻（嗅覚）はとても良いので足音や話し声を聞いてすぐに逃げてしまいます。しかし目（視覚）はあまり良くありません。数m～数10m位の距離で出会っても、いつもと違う何かがある（居る）けどなんだろう？といった感じで見ています。じっとしているとそのうちツキノワグマのほうから離れていきます。

互いに相手の存在を認識していながら無視しているとやがて去っていく、山での付き合い方です。これは、私だけでなくツキノワグマと何度も出会ったことがある人達の共通した見識です。しかし、これはあくまでもツキノワグマの生活圏で出会った場合のことです。本来の生活圏を離れて人間の生活圏に出てきたツキノワグマはなかばパニック状態になっています。動くもの全てが敵と思い人のことも攻撃してしまいます。

出会わないことが一番良いのですが、ツキノワグマの方から街に出てくるのでいつ、何処で出会ってしまうか予測が付きません。常に緊張感をもって行動しましょう。

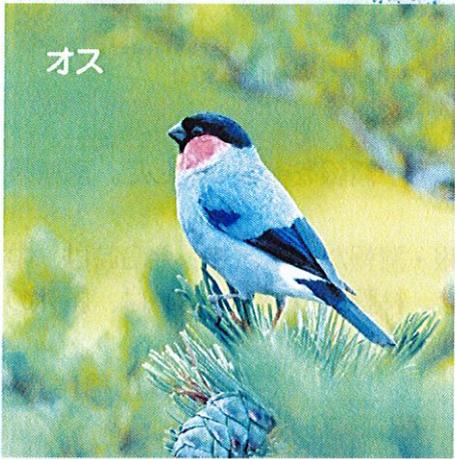


(文・写真 太田)

ウソ 鶯
(スズメ目アトリ科)

今月のスタッフが見つけたしぜんのひとコマ
けんみんのもり写真館

セリバオウレン
芹葉黄連
(ミズキ科ミズキ属)



オス

梢から口笛のような「フィーフィー♪」が聞こえたら、赤いほっぺの小さな群れを探してみてください。

頭と尾羽が黒く、オスは全体に灰色で頬から喉元が赤く目立ちます。メスはやや褐色。桜の花芽などが好物、他にも種子や木の実を食べます。繁殖期は主に昆虫食だそう。本州中部以北の亜高山帯の針葉樹林で繁殖し、冬期は平地に移動して過ごします。ユーラシア大陸方面から渡ってくる群れも居るそうです。

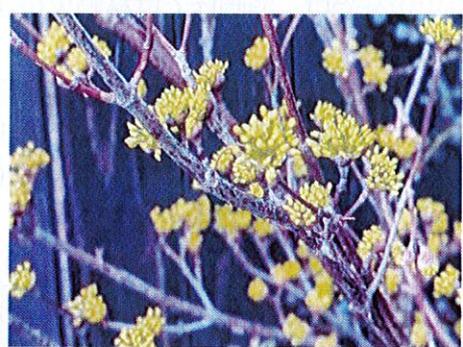
ウソの名前の由来は、古い言葉で口笛を吹くことを「うそぶく」と言い、ウソの「フィー、フィー」という鳴き声が口笛に似ていることからと云われています。

(写真：もちお・文：もち)



メス

サンシュユ 山茱萸
(ミズキ科ミズキ属)



柔らかな弥生の陽光を浴びて黄金色に輝く姿に目がくぎづけになります。マンサクと共に早春を代表する花です。享保年間に薬用植物として持ち込まれましたが、鑑賞用に公園樹・庭木・切り花としても人気となりました。漢名は山茱萸で、この音読みが名前の由来です。

枝先に直径2～3cmの鮮黄色のぼんぼりのような、とてもチャーミングな花を付けますが、これは花径が4～5mmの小花が30個ほど集まったものです。花弁は4枚で反り返り、4本の雄しべが愛らしく突き出ます。

別名はハルコガネバナで牧野富太郎の命名です。

また秋に赤い実をたわわに付ける様子からアキサンゴの別名もあります。果肉を乾燥させたものは滋養強壯の生薬で、八味地黄丸にも使われています。(片岡)



春の訪れを一番乗りで教えてくれる、可愛らしい小さな花です。県民の森の群生地で「咲いたかな～？」と腰をかがめて探すのも今の時期！

名前は葉がセリに似て、根が黄色く連なっていることによります。この仲間は古くから“加久末久佐(かくまくさ)”“山草(やまくさ)”と呼ばれていました。

早春の花の少ない頃、星を散りばめたような可憐な花は貴重です。咲き終わった後の種の様子もまた面白く、長く楽しむことができます。

花期：3～4月 (駒野)



■大人気！植菌体験■
今年も開催決定！ご予約受付中！

2026年
◆植菌体験◆
～キノコを育てよう！～

参加費：600円(種木(ほたぎ)1本)
1組2本まで 保険代を含む
令和8年3月29日(日) 10:00～12:00
令和8年4月4日(土) 10:00～12:00
要申込：定員20組 雨天決行
※申し込み：1ヶ月前(3/29分は2/28から)の
同日、9時からお電話で受け付けます

30cmくらいの種木(ほたぎ)に
穴を開けて
キノコの菌(ナメコ、ヒラタケなど
種類未定)を馴染つけます
持ち帰って、大きく育てて
おいしく食べてください！

※持ち物など 持ち帰りの袋・軍手
動きやすい服装・飲み物
ご家族で、ご夫婦で、お友達と！
キノコ栽培してみませんか？

※注意：自己責任にて参加・自家消費すること(人にあげないでください)
本館では 宮城県 県民の森 管理事務所 022-255-8801
〒981-0121 気仙郡利根町沢井野野4-1

■お知らせ■

- ①4月の交通規制にご注意ください。観桜期の土日、9～17時まで、岩切城址～青少年の森の間が一方通行となります。日程詳細は未定。決まり次第お知らせします。
- ②4月1日より、閉館時間及び、駐車場の利用時間が3月までの16時から16時半までとなります。30分だけですが、園内をごゆっくりごらんください。